

提 言 書

うるおいの環境都市部会

1 背 景

「豊かさの実感、安全、快適、情報文化都市にいみ」を将来都市像として、新見市総合振興計画が策定されている。

我々の担当する「うるおいの環境都市部会」は、市民生活に密着している課題である『道路網の充実について』をテーマとして検討・協議を重ねてきた。

その中で、当部会では、市民目線を大切にし、将来を展望し希望に満ちた提言。緊急且つ早急に整備を要する路線に関する提言。以上2点を基本理念とした提言づくりを推進することとした。

2 問題点

新見市が管理する道路は、県道16路線・延長113km・市道1,896路線・延長1,211kmがある。主要な路線については、改良や安全対策等がなされているが、部会で協議を行った結果、次の項目について課題が示され、改善の必要性が協議された。

基幹道路の整備

市街地道路の路線状況

新見市街地については、近隣市町で整備されているようなバイパス等の迂回路線の整備が遅れており、通勤時間帯には渋滞が発生している。また、道路幅員も狭小で歩道整備も十分ではなく、児童・生徒の通学に支障をきたしている。

運搬経路の整備状況

新見市の主要産業である木材・石灰等については、搬出現場から市内外へ輸送を行っているが、運搬車両の大型化により、狭小及び急カーブ箇所において、運搬車両はもちろんのこと、対向車両の通行に影響する路線・箇所が見受けられる。

未完成改良区間の状況

現在、県・市において路線改良事業を段階的に実施しているが、未着手・未完成の路線が見受けられ、早期の工事着手及び完了が望まれる。

自転車通行路線の状況

市内において自転車が安全・快適に通行できる幅員を有する路線は少なく、自転車利用者に支障をきたしている。また、十分な歩道がある路線もあるが、歩道は原則自転車通行が禁止のため、車道を走行せざるを得ないことにより、安全対策上、不安が残る。

歩道の状況

歩道整備については近年、整備の充実が図られているが、既存の歩道において、段差や高低差が生じ、幼児・児童や高齢者にとって往来しづらい状況が見受けられる。

生活、通学道路の安全対策

交通安全施設の状況

学校周辺に設置されているガードレールやカーブミラー等の交通安全施設は、各学校の状況に応じた整備が、概ね実施されているが、一部不十分な箇所も見受けられ、登下校の安全確保に不安が生じている。

3 提言内容

基幹道路の整備

市街地の道路の抜本改革

市街地の道路については、狭小で歩道整備も十分でない路線が多く、拡幅や新たに歩道を敷設するには、家屋が密集しているため、用地の確保が困難である。

そのため、既存路線の改良より、住宅地を回避した環状バイパスの整備が有効と考える。

主要産業の振興上、該当地域における道路改良の推進

石灰の主要な産地である足立地内（県道新見日南線）の幅員確保及び急カーブの解消と井倉地内（市道井倉線）の幅員確保及び橋梁の付け替えを行うことで、大型車両への対応が図られるため、関係機関への働きかけを要望する。

事業着手している事業の未完成区間の早期完了

県道及び市道において、未完成区間がそれぞれ存在するが、次の4箇所については、通行量及び安全面において早期完了の必要あるため、関係機関への働きかけを要望する。

- ・大佐上刑部地内（県道大佐日野線）
- ・大佐布瀬地内（県道北房川上線）
- ・唐松地内（備北新線）
- ・正田地内（正田トンネル）

安全対策上、自転車通行可能幅員の確保と自転車が通行可能な歩道への働きかけの実施

公共交通機関が脆弱な本市においては、自家用車利用が多く、自転車利用者は限られた年代であり、その大半が小中高生である。特に哲多町矢戸地内（県道新見川上線）においては幅員が狭く、安全確保の観点から早期の改良を要望する。

併せて、十分な歩道が確保されている路線については、歩道を自転車が通行可能になるような関係機関への働きかけを要望する。

幼児及び児童、高齢者対策の観点から、歩道のバリアフリー化の推進

歩道整備については、充実が図られる傾向にあるが、従前の規格で整備された歩道に関しては、バリアフリー化を取り入れ、再整備を行うことを要望する。

生活道路、通学道路の安全対策について

学校周辺の交通安全施設（ガードレール、カーブミラー等）のより一層の充実

各学校周辺地域の整備状況を把握するとともに、統一的な基準を設定し、それを満たすような整備を図ることを要望する。

4 まとめ

道路網の充実、山間・過疎地域に住む我々市民にとって、まさに生命線であると言える。しかしながら、全ての路線について整備充実を図ることは、極めて困難であるため、我々の部会ではポイントを絞って提言することで、市民が安全安心に暮らせ、利便性を向上させるための道路環境の充実には、何が必要であるかを考察することができた。

この提言が、少しでも施策に反映され、実現に向けて取り組まれることを期待する。